

# 院内散策してみました!!



【花名】  
パンジー

【花言葉】  
・物思い  
・心の平和

特徴：ビオラと似ているが、花の直径が3～5センチ以上のがパンジーと呼ばれ、3センチ以下のものをビオラと呼ぶとされる。



【花名】  
ノースポール

【花言葉】  
・愛情  
・清潔  
・冬の足音

特徴：ノースポールというは「北極」のことである。花つきがよく、株全体をおおうほどに白く咲くことから名付けられたものである。

## 医療法人起愛会 宇佐病院広報誌

# ひだまり

冬号

2014.1

編集・発行：宇佐病院広報委員会 医療法人起愛会 宇佐病院広報誌 2014年1月22日発行25号

## 病院理念

宇佐病院は自然を愛し、人を愛し、地域に根ざし、精神保健・医療・福祉に貢献します。

### 基本方針

緑と大気に包まれた心にゆとりのある精神科病院。  
明るく、温かい、愛の心を持つ医療の提供に努めます。  
全人的医療、包括医療、地域医療を目指します。  
患者様の権利擁護に努め、社会復帰への継続的な支援の提供を目指します。



## 外来診療のご案内

午前 受付 AM 8:30～11:00 診療 AM 9:00～12:00

●祝日は休診です

午後 受付 PM 1:00～ 4:00 診療 PM 1:30～ 5:00

診療科	曜日		月	火	水	木	金	土
	午前	午後						
精神科	午前	初診	森 内	西 森 口 内	西 森 口 内	西 森 山 口 内 下	西 森 (第一金以外) 口	休 診
	午後	再 診	宇都宮 西 森 口 内 内 岡	西 森 豊 口 内 岡	宇都宮 西 森 口 内 内 岡	西 森 山 口 内 下	西 豊 岡 口 森 (第一金以外)	休 診
	午後	再 診	森 豊 内 岡	豊 岡 寺尾教授 (月2回)	森 内	休 診	豊 岡	休 診
心療内科	午前	初診・再 診	小 関	休 診	小 関	休 診	小 関	休 診
	午後	再 診						
内 科	午後	再 診	休 診	今 永	休 診			

※月2回火曜日午後に大分大学医学部の寺尾教授による診察があります。  
詳細につきましては、受付窓口又は、外来担当者へお尋ね下さい。

### 編集後記

冬号発行にあたって

寒さが一段と厳しい季節になり、今まで以上に「うがい、手洗い」を習慣づけ、換気や湿度に気を配るなどのウィルス対策をしましょう。発熱、保温性のあるものをうまく利用して、暖かく過ごす工夫をしましょう。本年も「ひだまり」をよろしくお願い致します。

## 精神科・心療内科・内科

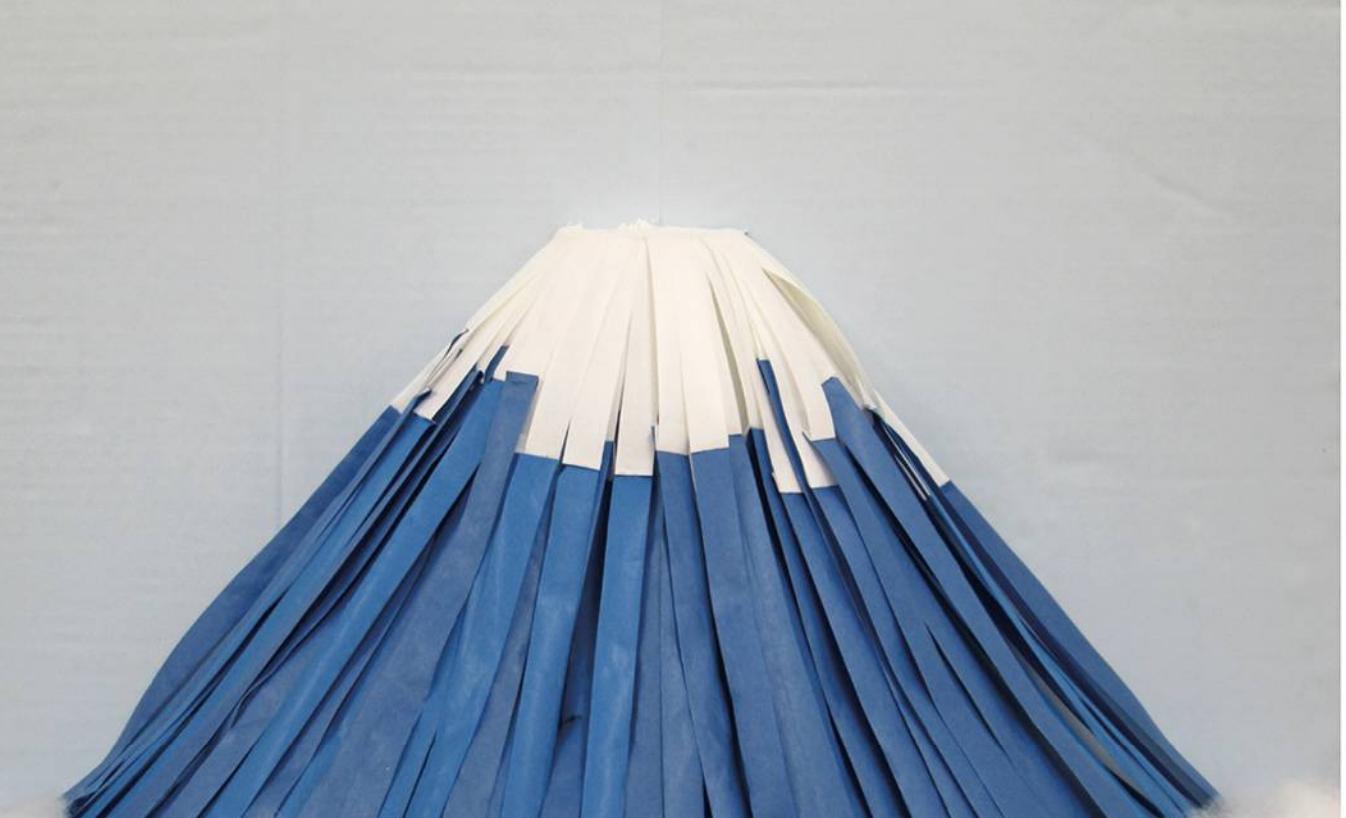
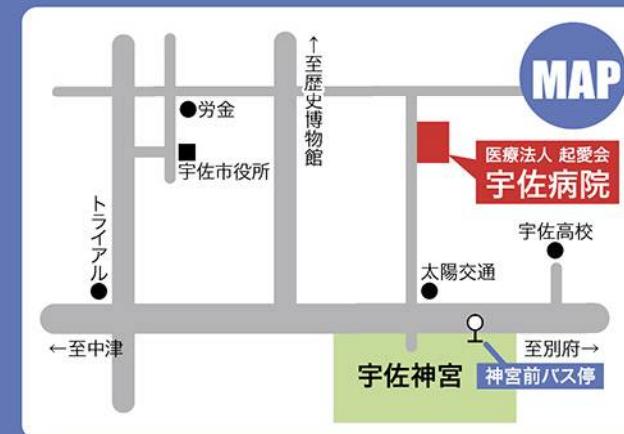
# 医療法人起愛会 宇佐病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐 1655

TEL 0978-37-0485(代)  
FAX 0978-37-0256

### 宇佐病院へのアクセス

- バスをご利用の方は「神宮前バス停」下車が便利です。
- 宇佐駅より神宮前バス停まで約10分、神宮前バス停より徒歩約5分



タイトル：富士山ごよみ

コメント：紙テープを使って立体的に作りました。破れそうで難しかったけど、出来上がりはとても素晴らしい、本物の富士山に登ってみたいと思いました。

## イベント報告

当院が開催しているイベントの報告を行います。  
今回は 草間弥生展・もちつき大会をご紹介します。

## 専門分野

### 当院ディケアメンバーで 草間弥生展に行ってきました！



■草間さんにとって創作することは“生きる”  
ということを全うすることなんだな、と、作品  
を見て感じました。 (30代 女性)

■草間さんは水玉で有名ですが、描かれる人物のタッチがとても柔らかいのに驚きました。実際に作品を目に出来たからこそだと感じています。ディのメンバーと行けたのも良かったです。 (30代 女性)

■草間弥生は良くわからんかったけど、ジョイフルで食べたハンバーグが美味しかった。 (50代 男性)



### もちつき大会開催



当院で恒例のもちつき大会が開催いたしました。  
日頃、おもいっきり力を絞り出すことが少ないですが、皆さん、この時ばかりは力をしっかり  
込めて、おいしくつきあげることができました。



毎回違う当院の専門分野にスポットライトをあててご紹介しております。  
今回の専門分野は、大分県病院学会・新人看護助手研修会・消防訓練についてです。

### 第31回大分県病院学会に参加して

■今回の学会を通じて感じたことは、原点を振り返りながら新しい物を取り入れ吟味し、よりいい物を患者さんに提供しようとする意識の高さと、継続できているモチベーションの維持力です。いくらいい物を提供できても継続し追究しなければ何の意味も成さないため、後者に注がれるエネルギーは計り知れません。だからこそ安易に出来ることではないと思います。まずは、OT分野で維持・継続、そして追究・進歩を念頭に置き、更に己の領域だけに固執せず、他職種の良い所を活用し研鑽できたらと思います。



【作業療法士 濑川聖史】

■院内感染(ノロウイルス対策)では適したフェーズ(段階)別のさらなる感染予防の必要性を考える事ができました。又、認知症高齢者と家族への糖尿病療養指導士の役割の講演では在宅と病院、医療と福祉、患者様と家族をつなぐパイプ役となることが重要であると思いました。今回の学びにて自己を振り返りながら専門性の高い知識やスキルの必要性、質の高い看護を提供し、笑顔であたたかみのある親切な対応を心がけ、患者様の健康の回復と増進を願いながら、心を癒やせる看護を日々めざしながら社会に貢献できればと思っています

【看護師 光門陽子】

■他院での褥瘡対策委員会のあり方について知ることができました。

褥瘡対策委員の定着化により委員の知識・技術の向上につながった事例でした。

定着することにより

①褥瘡委員の知識習得と委員としての信頼度の高さ。

②治療する経過の確認をしていくことが褥瘡に対する意識・熱意を高めていく等を学びました。

当院でも患者の重症化・高齢化が進む中、褥瘡の更なる予防対策が必要だと感じました。【看護師 宗 久美】

### 新人看護助手研修会開催

■12月19日看護助手の為の研修会を開催した。

研修内容は排泄ケア、車椅子移乗動作、食事介助、洗面介助、環境整備について看護師・作業療法士が講師となり、実技も含め行った。日常業務の見直しや振り返りをする良い機会となったとの意見も多く、今後も定期的な開催を希望するスタッフ多かった。又、医療事故や院内感染対策については基本的な知識の学習と、報告・連絡体制についての研修を行った。これから先、冬場に流行期となるインフルエンザやノロウイルスに対する予防対策として、普段から手洗いや環境整備の徹底を実践することをスタッフで共有する機会となりました。

【看護部長 河野久美子】

### 消防訓練実施

■12月4日消防避難訓練を行いました。

10月、福岡市の整形外科医院で発生した火災により、犠牲者を出す痛ましい報道に衝撃を受けたことは記憶に新しいと思います。この事故をきっかけとし、普段の防災体制の見直しと多くの患者様を預かる病院として改めて責任の大きさを痛感しました。

今回の訓練では、地震と火災を想定した通報、避難誘導を行いました。職員も患者様をより安全に素早く避難誘導できるよう真剣に取り組みました。

訓練終了後、初期消火を行う為の消火栓や消化器の取り扱い方法を実践をしながら訓練を行い、訓練を終了しました。

